

マタニティW獲得

選ばれる式場の法則



オリエンタルホテル東京ベイ
総支配人
藤井育郎氏



▲託児ルームも用意している

オリエンタルホテル東京ベイ(千葉県浦安市)は、年間350組の受注のうち、50組がマタニティウエディングとなっている。

マタニティ用プランは通常プランと比べて豊富な特典を用意。マタニティ専用インナーのプレゼント、挙式1年後にホテルに宿泊できるサービス等が付く。価格面で悩むカップルも多いため、複数あるプランの中でも低価格で提供している。

ソフト面ではマタニティへの気遣いとして、打ち合わせ時間を短くしている。通常3時間程の打ち合わせ時間を半分程度にし、休憩も多く入れる。打ち合わせの回数は多くなるが1回の負担を出来るだけ少なくしたいという考えだ。

マタニティプランを作ったきっかけは、昨年1月に関東のホテルとしては初めて、ミキハウス子育て総研の「ウエルカムベビーの結婚式場」に認定されたこと。認定を武器に子供に強い施設としてマタニ

年間50組のマタニティを獲得 出産前予約のパパママ婚増加

ティプランも用意した。

また、今年増えているのが、妊娠後6ヶ月までに挙式打ち合わせを終え、出産後に挙式をするケース。昨年は実施がなかったが、今年になって複数組の申し込みがあった。「ホテルとして『パパママ婚』に誘導している側面もあるが、ゆっくり準備し、落ち着いて挙式できるため選ばれている」(プライダリザベーション課課長・始関裕二氏)

参列するゲストにまで気を配るのがホテルとして注力している点。「ゲストに妊婦がいれば食事に気を使い、ブランケットも用意する」。そういった対応が口コミを呼び、参列ゲストが挙式者としてリピーターになるケースも多いという。

またゲストには子供連れも多く、1テーブルに1組が出席していることも。「ホテルとして3世代の獲得を目指している。結婚式においても子供に優しい施設としての強みをアピールしていきたい」。